

第7分科会

「研究・研修」

柳井支部

これからの研修の在り方

第七分科会では、研究発表とその後
のグループ別協議を通して、全国から
集まった各校長がそれぞれリーダーシ
ップを発揮しながら、人材育成に向け
て意欲的に取り組まれていることを肌
で感じる事ができた。

また、研究発表やグループ協議で出
てきた事例や意見は、校長二年目の自
分にとって、大いに参考になり、刺激
にもなった。

各校長の取組を目的で分けると次の
三点になるだろう。

- ① 資質・能力を高める取組
- ② 今ある能力を引き出す取組
- ③ 主体的に創造していくチームを作
る取組

①については、校内研修以外に新任
教員の希望によるミニ講座の開催、板
書を相互に見合
う「板書交流」、
最適な外部講師
を招聘するため
の人脈作りなど
が事例としてあ
げられた。

②については、
OJTによるべ



テラン教員の活用、教職員評価の活用、
適切な校務分掌に配置することを通し
たミドルリーダーの育成などの事例が
あげられた。

③については、地域における若年教
員の研修会として、交流の場を設け、
若年教員が相互の課題を解決し合える
ようにした事例などがあげられた。

①や②はどちらかというところ、管理職
主導の取組である。この部会でも様々
な取組を聞くことができた。取り組む
課題や目標が明確で、共有できて
いる場合は有効だろう。研修を計
画的に効率よく進めることができ
る。

③はどちらかというところ、教職員
が主体となった取組である。放課
後に教員が自発的に研修を進めて
いる事例などの紹介があったが、
多くは、意欲的なミドルリーダ
ーが推進するものであった。

これからの研修は、③のような
教職員主体の研修を進め、さらに、
全ての教員がリーダーとなって課
題解決に取り組むような研修として
いくことが必要だろう。

部会では、「若年教員の急速な増加」
「管理職希望者の減少」など、これま
で経験したことがない課題に各県の校
長が悩んでいることを聞くことができ
た。

こうした課題に対応していくために
も新しい研修体制を構築していく必要
性を感じた分科会であった。

(余田小学校 池本武志)

全連小山口大会を
通して

第8分科会

「リーダー育成」

宇部支部

リーダー育成と校長の役割

本分科会は、佐世保市校長会と、倉
吉市校長会の発表であった。

佐世保市では、ミドルリーダ
ーに求められる力量として、「教育
活動全体を見渡せる広い見識」、「組
織を機能させるための調整力およ
び柔軟かつ迅速な対応力」を挙げ、
市の校長会自らが、独自に「後継
者育成研修会」を年七回開催して
いた。

倉吉市では、「教職員が互いに
かわり合って研鑽できる組織づ
くりを行う」、「教職員のモチベー
ションを高めるため、キャリアア
デザインの多様な方向を価値付ける」
などを大切にし、教育委員会との連携
推進やOJTの活性化、モチベーショ
ンの維持向上なども含めて取り組んで
いた。

この二つの発表、及びそれを受けた
グループ協議等を通して学んだことは、
次の二点である。

一つは、校長のリーダーシップが何
よりも重要であることの再認識である。
また、そのリーダーシップを、校長会

としての共通の取組や各学校の特色を
生かした取組にするなど、実践的な取
組に具体化しているという点である。
それぞれに異なる各県、市町の教職員
の実態に応じて、工夫を凝らしたリー
ダー育成の「基本となる考え方」を学
ぶことができた。

二つ目は、佐世保市校長会が独自に
実施する研修会や、倉吉市校長会が行
うライフステージに応じた研修双方に
見られた具体的な内容である。若手や
ミドルリーダーに対して、教育問題へ
の広い考え方ができるようにしたり、
キャリアデザインを明確にするための
自己目標設定を行わせたりと、多様な
内容を学ぶことができた。また、教育
委員会とも連携を図りながらも、OJ
Tを通して進めるリーダー育成は、ま
さに学校をあずかる校長が、組織力を
強化する中で、一体的に進めるのにふ
さわしいと感じた。

今後の本
校の取組や
宇部市校長
会での取組
には是非とも
生かしてい
きたいと考
えている。



(西宇部小学校 坂本哲彦)